

学部の先生方が選んだ「学部推薦図書」

学部の先生方が選んだ「学部推薦図書」をテーマとした展示を開催しています。本展示では、学部新生向けの5冊と学部全体を対象とした5冊を先生方の紹介文とともに展示しています。各学部の学びを深め、他学部の学びを知るための良書がそろっています。皆さんの学びを広げるために、ぜひご活用ください。

学部推薦図書

学部新生向け

☞ 学びのスタートアップを支援

学部全体向け

☞ 学部の学びを特徴づける読みやすい本

学部の
先生方
が選んだ

学部の学びを
「深める」
ための必読書！



media showcase前 (2階)



玉川大学教育学術情報図書館

Tamagawa University Library and Multimedia Resource Center

文学部

教育学術情報図書館
学びのスタートアップを支援



新入生の皆さんへのおすすめ本

教養の書 戸田山和久

あなたは大学に何をしに来ましたか？この4年間でぜひ身につけてほしい「教養」は、私たちが世界の中でより豊かに生きるために必要不可欠のものです。本書は大学で学問を学ぶ意味を考えるきっかけになる優れた書物です。



一般教養



千年の百冊 あらすじと現代語訳でよむ日本の古典100冊 スーパーガイド 鈴木健一編

古典文学には、日本人の根底に流れる美意識や価値観が凝縮されています。そんな古典の代表作の解説・あらすじ・原文を一覧できる本書は、古典が苦手、古典の魅力を発見したい、国語の教員を志す人には必見です。

日本文学

英語は決まり文句が8割 今日から役立つ「定型表現」学習法 中田達也

英語を使う際、定型表現を活用すると表現の幅が広がり、よりスムーズに表現をすることができます。英語コミュニケーション力を高めたい人にとって必読の書です。一般の読者に向けて平易に書かれています。



英語学習



英語教育幻想 久保田竜子

海外の大学で25年教鞭をとってきた言語教育学者が、日本人の中に深く根を張る「英語への信仰」と「幻想」を、10のポイントに分けてあぶりだします。特に英語教育学科の学生に読んでもらいたい一冊です。

英語教育

人生を狂わす名著 50 三宅香帆

本好きが高じて書店スタッフとなった大学院生による、小説のほか評論・エッセイ等を含むブックガイド。人生を狂わせるかどうかは別として、いろいろ読んで自分の好みを自分のことばで語れると、読書は楽しくなる。



文学

文学部

教育学術情報図書館
学部の学びを特徴づける読みやすい本



学部生の皆さんへのおすすめ本

哲学の使い方 鷲田清一

人生には正解のない問いがあふれています。私はどう生きるべきか。幸福なのは誰か…。哲学は、なかなか答えの出ない問いを考え続ける思考の持久力を鍛えてくれます。本書は自分で考える勇気を与えてくれる、良質な哲学の入門書です。

哲学



古典和歌入門



古典和歌入門 渡部泰明

三十一音で何をどこまで表現できますか。和歌は、日本人が発明したコミュニケーションツールです。本書は、難しい内容をわかりやすく伝えたいときにも手本になる一冊。「ことば」と「心」を大切にしたいあなたに！

日本文学

外国語学習の科学: 第二言語習得論とは何か 白井恭弘

人が母語以外の言語をどのように学ぶのかを科学的に探究する学問分野を第二言語習得論 (SLA) と呼びます。英語学習を理論的な視点から見つめ直したい人にとってお薦めの一冊です。

英語学習



英語現代文選 / 2014



ことばを鍛えるイギリスの学校：国語教育で何ができるか 山本 麻子

筆者の3人の子育てをとおして見たイギリスの国語教育。イギリスでは圧倒的な密度で国語教育を行う中で創造性、想像力、論理力が日々鍛えられるといえます。日本の国語教育と比較しながら読むと新しい知見が得られます。

英語教育

外国語を身につけるための日本語レッスン 三森ゆりか

自分の母語 (第1言語) が貧弱であれば、その上での第2言語 (外国語) は、母語の程度にしか育たない! 本書には外国語の学習の基本である母語 (日本語) の鍛え方が詳しく書かれています。

国語教育, 外国語





新入生の皆さんへのおすすめ本

バッタを倒しにアフリカへ 前野 ウルド 浩太郎

これから大学での学修を始めようという時に、基礎研究が社会にどう貢献するのか、海外で活動するにはどんなハードルがあるのか、ということを知れることは有意義ではないかと思います



自然科学

ゾウの時間 ネズミの時間—サイズの生物学 本川達雄

古いですが面白いです。私は大学で著者に生物学を教わりましたが、授業では毎回歌っていました。歌っていたことしか記憶にありません。著者は「歌う生物学」の著者でもあります。



自然科学

ソロモンの指環—動物行動学入門 コンラート・ローレンツ

動物と共に暮らしながら、それらの行動を科学的な視点で考察していく筆者の日常が楽しく、また羨ましく読み進めました。動物行動学という学問に触れた最初の書籍でした。



自然科学

若い読者に贈る美しい生物学講義—感動する生命のはなし 更科 功

最近出会った本ですが、科学への興味をかきたてる読みやすく面白い本だと思います。大学1年生のうちに読んでおくと、科学の世界に興味をもって入っていけると思います。



自然科学

愛なき世界 三浦しをん

小説ながら、植物研究者と研究用の植物シロイヌナズナの特徴が垣間見える面白い本でした。研究者ってどんな人たち？と気になる人へ。



自然科学

農学部

教育学術情報図書館

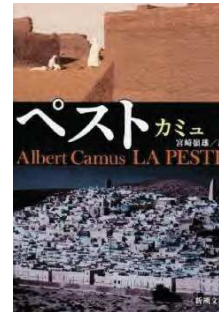
学部の学びを特徴づける読みやすい本



学部生の皆さんへのおすすめ本

ペスト アルベルト・カミュ

本を読むのに慣れていないと数ページで諦めるかもしれません。それを乗り越えれば、これまでの自粛生活を思い浮かべながら読めるので、一番読みやすい時期だと思います。



自然科学

碧素・日本ペニシリン物語 角田房子



イギリスで世界初の抗生物質ペニシリンが発見され、感染症に効果を発揮し始めた頃、戦時中の日本でも独自にペニシリン「碧素」の研究が進められていた。学生のころ教授に進められて、引き込まれるように読みました。なお、本学に所蔵はされておりますが絶版となっているようですので、申し添えます。

自然科学

セレンゲティ・ルール — 生命はいかに調節されるか ショーン・B. キャロル

人体での「生命のホメオスタシス」や分子レベルの調節の原理と、生態系レベルでの「調節」に共通する法則があるとする著者の考えに大きく共感・共鳴しました。生物保護を考える際の参考図書として有用です。



自然科学

種の起源(上)(下) チャールズ・ダーウィン



大学の頃に読んでおくべきだったとだいぶ大人になってから後悔した本。ダーウィンの観察力、洞察力の幅広さに圧倒されます。

自然科学

言葉ダイエット 橋口幸生

レポートや論文、就活時など、文章を書く機会は何度となく訪れます。他人に向けての文章に「読みやすさ」は絶対条件です。簡潔な文章で読みやすく、情報を的確に伝えるには？そんな疑問に答えてくれる一冊です。



(図書館分類：経営)

工学部

新入生の皆さんへのおすすめ本

教育学術情報図書館
学びのスタートアップを支援



ホモ・デウス 上巻・下巻 ユヴァル・ノア・ハラリ

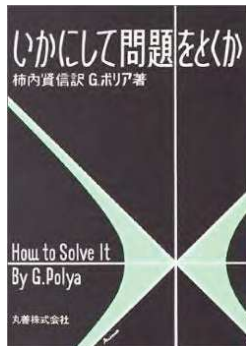
歴史学者の視点から、ビッグデータ×AI時代の文明について、技術、思想、宗教など様々な切り口で考察します。

予測困難な VUCA 時代を見通すヒントが詰まっています。

未来を創る大学生にお薦めしたい一冊です。



人類史、テクノロジー、AI



いかにして問題をとくか ポリア

20世紀の数学者ポリアが1940年代に書いた本で名著とされている。

問題解決について、数学だけでなく、ビジネスにも使える方法や考え方が解説されている。

自分の能力を伸ばしたい学生や教師のどちらにも有益である。

問題解決、数学

推しエコノミー：「仮想一等地」が変えるエンタメの未来
中山淳雄

現在の社会では、データに基づいて考える能力が必須となります。ゲーム、アニメなどのエンタメ業界の最前線で働いている著者の中山淳雄氏から、丁寧にデータ分析する姿勢を学ぶことができます。

ビジネス、経済



ロケットボーイズ 上巻・下巻
ホーマー・ヒッカム・ジュニア

アメリカの上空を横切ったソ連の人工衛星の輝きに感動した落ちこぼれ高校生四人組は、多くの失敗にめげずロケットづくりに没頭し、「ロケットボーイズ」と呼ばれて町の人気者に。NASAのエンジニアになった著者の自伝。

自己啓発



学部生の皆さんへのおすすめ本

シン・ニホン 安宅和人

この本は、AIとデータを活用し日本の未来を創っていくことについて書かれています。学部の専門科目を修得し実践するためのロジックやヒントが満載です。これからの社会で生き抜く学生の必読書として推薦します。

AI×データ、日本再生、人材育成



わかるということの意味 佐伯胖

佐伯胖は認知科学、認知心理学者で古くからコンピュータと教育についての本を書いている。この本は認知科学の立場から、教育に関する大きな問題でもある「わかる」ということの意味についてわかりやすく解説している。

教育、認知科学

世界で一番やさしい会議の教科書 榎巻亮弘

社会人でも会議の仕方が分かっていない人はたくさんいます。大学ではゼミ・研究室でのグループ活動が盛んになると思いますが、その前に本書を読んでおくとうまく効率的で有効なミーティングができるようになります。

ビジネス、経済



これからの「正義」の話
いまを Justice
生き延びるための哲学
マイケル・サンデル
Michael J. Sandel

これからの正義の話をしよう マイケル・サンデル

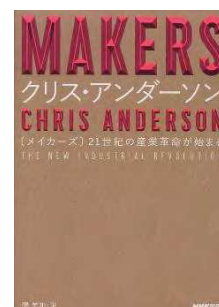
ややもすると捕らえどころがないとみなされがちな「道徳」について、一つの基準となるスタンスを与えてくれる良書。最終的なスタンスはもちろん個人の自由ですが、社会への関わり方についてのヒントを与えてくれます。

倫理・道徳

MAKERS(メイカーズ)21世紀の産業革命が始まる クリス・アンダーソン

21世紀の製造業は、アイデアとPCさえあれば誰もが自宅で始められる。ウェブ世界で起こったツールの民主化が、もの作りの世界でも始まった。メーカーズ(もの作る人々)革命が、世界の産業構造を再び変える！

ものづくり (デジタルファブリケーション)





新入生の皆さんへのおすすめ本

これは経費で落ちません！～経理部の森若さん 青木祐子 第1巻―第10巻

石鹸メーカー「天天コーポレーション」を舞台に経理部の森若さんに降りかかる問題解決物語です。経理部の仕事だけでなく他部署との関係で生じる問題は会社組織を垣間見ることができます。NHKでドラマ化されました。



会計, ビジネスコミュニケーション, 会社組織

人生を豊かにする簿記―続・簿記のススメ―
上野清貴監修



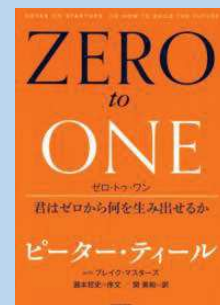
社会人1年目から老後まで、人生の場面場面で「いかに簿記が役立つか」読みやすいストーリー仕立てで解説しています。本書の姉妹書『簿記のススメ』とあわせてお勧めします。

ライフワークバランス, パーソナルファイナンス

ゼロ・トゥ・ワン-君はゼロから何を生み出せるか-
ピーター・ティール

ビジネスの世界では、ゼロから1を作り出すための強い個性を持った個人が欠かせません。本書では、新しい何かを創造する企業をどう立ち上げるかについて事例を基に説明しています。

起業家精神



1からのマーケティング 石井淳蔵, 廣田章光, 清水信年編著



初めてマーケティングを学ぶ人に向けて作られた書籍です。マーケティング 4P などの概念を説明する前に、クラフトボスなどのケーススタディが紹介されているため、具体的なイメージを想像しやすくなっています。

マーケティング

1からのデジタル・マーケティング 西川英彦, 澁谷覚編著

デジタル・マーケティングの理論や概念を体系的に、わかりやすく説明しています。アマゾンや食ベログなど身近な企業のケースを通して説明しており、初めて学ぶ人も理解しやすくなっています。

インターネットマーケティング





学部生の皆さんへのおすすめ本

世界をめぐる会計歴史紀行—新たな地平を求めて— 渡邊泉

13世紀のイタリアで発祥した複式簿記に初めに、会計の発達に影響を及ぼした世界各地を著者が巡りながら、現代までの会計発達史を解説しています。貴重な資料や世界各国の写真も多く掲載されています。



会計史

組織は戦略に従う チャンドラー



本書では、先駆的な組織と戦略の重要な相関関係を詳細な事例研究からさまざまなかたちで学べます。

組織、戦略

全員経営-自律分散イノベーション企業成功の本質- 野中郁次郎

本書では、「最高の経営は衆知による全員経営である」とする考え方を基に、多くの事例を紹介しています。企業のハイパフォーマンスを生み出す要因について、学ぶことができます。



経営思想

インスタ・マーチャダイジング 流通経済研究所編



店頭での陳列やプロモーションは、消費者行動を科学的に理解し、緻密に行われています。来店客に「もう1点」買ってもらうために、どのような施策が実施されているのか、興味がある方にお勧めの本です。

小売商、マーチャダイジング

新・消費者理解のための心理学 杉本徹雄編著

5,000円を支払う食事会でも高いと思う場合もあれば、安いと思う場合もあるのはなぜでしょうか（心理的財布という概念です）。そのような消費者の心理を理解することを目的としています。



消費者、消費者行動



新入生の皆さんへのおすすめ本

知的複眼思考法 荻谷剛彦

大学に入学し「やる気スイッチ」が入っている新入生です。このやる気をどこにどのように向けていくのか具体的に教えてください。できるだけ早く手に取って、知的複眼思考法を自分のものにしましょう。



諸芸・娯楽

教えから学びへ 汐見稔幸

VUCA の時代を生き、将来に活躍する子どもたちに、教育がどのようにあるべきかを、今日の課題と対照化させてわかりやすく論じられています。さまざまな用語の解説も含んだ上で、学校での学び方を提唱しています。



教育

日本人のしつけは衰退したか 広田照幸

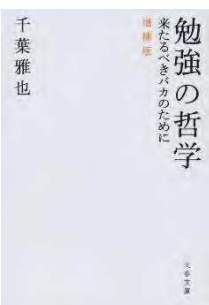
日本人のしつけは衰退したかという問いについて本書では「かつての時代に比べたら、総じてどの家庭でも子供のしつけに時間や情熱を注ぐようになってきている（199頁）」という結論を導いています。



教育社会学

勉強の哲学 来たるべきバカのために 増補版 千葉雅也

「勉強とは自己破壊である。」大学は勉強する場です。なぜ勉強するのか。それは「自由になるため」です。「これまでのノリ」から自由になるために勉強するのです。現代の哲学者がその「原理」から「実践」までを語ります。



哲学、教育

人間のための教育 上田薫

教育は転機の時を迎えています。しかし、いかに時代が変化しようとも不変の本質があるはず。本書には「人間を学ぶ者としての教師」「専門職であるとは」といった項目が掲載、学びのスタートにお勧めの一冊です。



教育

学部生の皆さんへのおすすめ本



特別支援教育は特別なの？ 阿久澤栄

現代の学校教育において、特別に支援が必要な児童・生徒がいるわけではありません。どの子にも特性があります。本書はその特性を理解し、適した支援をするための知識や工夫が分かりやすく書かれています。



教育

幼保小の『架け橋プログラム』実践のためのガイド 湯川秀樹他監修



就学前教育・保育と義務教育の接続は、学習指導要領等の改訂で大きな柱となっています。文科省は「架け橋プログラム」と銘打ち、推進を行っています。本書は、様々な地域での示唆に富んだ取組が紹介されています。

教育・保育

働くことと学ぶこと 里見実

里見氏の大学の講義をベースにした書籍です。ご自身の講義の受講態度にも変化が生じると思います。冒頭の「テコの原理の話」だけでも読んでみてください。引き込まれます。少なくとも私はそうでした。



教育学

宗教教育論 小原國芳



全人教育論において宗教は不可欠です。『教育の根本問題としての宗教』から始まる小原教育学の結論につながる最晩年の書です。「公立学校でも『教育基本法』の範囲で今直ちにこなえる具体案を詳述しました。」

教育、宗教

社会科教育の未来—理論と実践の往還— 西村公孝他編著

社会科は、民主主義社会の形成者を育成する教科ですが、地理、歴史、公民の学習全体を通して身に付く力とは何でしょうか。本書は、令和の時代に求められる社会科理論と実践モデルが掲載されている骨太の一冊です。



教育



新入生の皆さんへのおすすめ本

アート・スタンダード検定公式テキストブック
玉川大学芸術学部編

舞踏、演劇、音楽、美術を中心としたアートの諸ジャンルに関連する約 500 の用語を解説している。多様な文化の融合が求められる昨今、ぜひ知っておきたい基礎知識を横断的に学習することができる。辞書的活用におすすめ。



舞踏、演劇、音楽、美術



音楽史を学ぶ 古代ギリシャから現代まで
久保田慶一

社会史と音楽史の事項を組み合わせ、社会史の中の音楽の流れ、相互関係が書かれている。また日本における明治以降の西洋音楽史についても書かれており、今までの歴史の知識を基に音楽史が楽しく学べる一冊である。

音楽

日本の伝統 岡本太郎

伝統とは何か。芸術家・岡本太郎が「日本の伝統」を熱く語る。縄文土器・尾形光琳・庭園を題材に、日本の美の根源を探り出す。『今日の芸術』の伝統論を具体的に展開した名著。

アート・デザイン



ナイトフライ
録音芸術の作法と鑑賞法
富田恵一



音楽の「聴き方」が
変わった! と大好評。
音楽誌のみならず、「日本経済新聞」「読売新聞」
などの文化面で話題を呼んだ名著、重版出来!

ナイトフライ 録音芸術の作法と鑑賞法 富田恵一

音楽プロデューサー・富田恵一が手がけた一冊。Donald Fagen の《The Nightfly》を素材に、「繰り返し鑑賞できる音楽作品」について分析し、わかりやすく解説している。音楽の「聴き方」を広げ、聴き手を意識した創作へつなげてほしい。

アート・デザイン、サウンド

新訂 バスト・プレイズ 西洋古典戯曲 12 選 西洋比較演劇研究会編

西洋演劇史上、近代までの各時代の代表的劇作家の代表的戯曲が収録されている。編集方針として、アカデミックな翻訳でありつつも、大学生が読むことを想定している。関心の向くままに読んでいって良いと思うが、読む順番に序列をつけたいのであれば、専任教員に助言を受けるのも良いだろう。

演劇・舞踊





学部生の皆さんへのおすすめ本

はじまりのアートマネジメント 松本茂章編著

日々刻々変化している文化芸術を取り巻く環境、特に法整備の流れを、様々なジャンルで実際に携わっている人々のインタビューを交えて、わかりやすく解説しています。

アートマネジメント



ハーバード大学は「音楽」で人を育てる 菅野恵理子

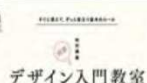
ハーバード大学はアメリカの大学の中で先陣を切って総合大学に音楽学科を設立した。本書は教師や学生のインタビューを軸に掛かれており、その内容は玉川大学で音楽を学ぶ学生に参考となるものが多数ある。

音楽

深読みミュージカル 本橋哲也

ミュージカル作品の中でも特に人気のある10作品を、「家族」「言語」「身体」「他者」というカテゴリーに分け、作品概要から始まり、内容、シーンごとの心理を読み解く内容が書かれている。

ミュージカル



デザイン入門教室[特別講義] 坂本 伸二

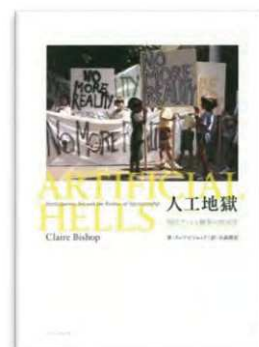
自身の経験から生まれた一冊。デザイン系科目の入門書。科目履修と合わせて活用するのもよし、独学で活用するのもよし。センスではなく、技術で伝える資料をつくろう。索引もあるので単語からページを開くことも可能。

アート・デザイン

人工地獄 現代アートと観客の政治学 クレア・ビショップ

20世紀から現代までの美術史ならびに社会と密接に関係する参加型パフォーマンスを検証していく。扱う範囲も演劇、コミュニティ・アート、美術教育と多岐にわたるが、章ごとに内容が分かれており興味のある分野から読み始めることができる。また具体例が挙げられているので初学者にもイメージがしやすい。

演劇・舞踊



リベラルアーツ学部 教育学術情報図書館

学びのスタートアップを支援

新入生の皆さんへのおすすめ本



「心のクセ」に気づくには—社会心理学から考える— 村山綾

「人の行動や物の考え方は環境の影響を受けること」を明らかにしてきた社会心理学の実験や調査の学術的な知見が平易に紹介されている。また、私たちの日々の何気ない個人の行動や社会のあり方が、学術的な知見から説明されており、研究と現実とのつながりを理解することができ、読みやすいものとなっている。



Human フィールド 社会心理学

映画を早送りで見ると人たちは:ファスト映画・ネタバレ —コンテンツ消費の現在形

稲田豊史

「タイパ」という言葉が広まるきっかけとなった本。若者の価値観とそれをもたらす社会の様相を描いているが、内容を鵜呑みにするのではなく、本書を批判的読解の練習に用いることをお勧めする。

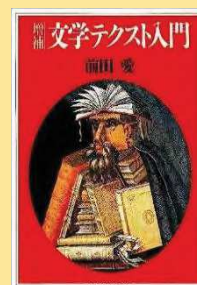
Society フィールド 現代社会論



文学テキスト入門 前田愛

現代文の授業でも扱う文学作品を、大学の授業で取り上げる際のアプローチの方法について理解していく上で、言葉と作品の構造に目を配りながら解説していく本書は、文学研究への格好の入門書と言えるでしょう。

Culture フィールド 日本近代文学



教養としての宗教入門 中村圭志

本書はキリスト教、イスラーム、仏教等世界の八つの宗教の信仰、戒律、儀礼、習慣がわかりやすく紹介された宗教ガイド的な書である。グローバル化が進む日本社会で宗教情報リテラシーを養う上で有用である。

Culture フィールド 宗教学



エンジニアなら知っておきたい AI のキホン ～機械学習・統計学・アルゴリズムをやさしく解説～

梅田弘之

これから AI を学ぶエンジニアのための本ですが、AI 関連に関わる勉強を、これから始める STEAM フィールドの学生にとっても有用な本です。内容はとても分かりやすく、ちょっと背伸びしたい新入生にはぴったりの難易度です。

STEAM フィールド 工学、心理学



リベラルアーツ学部

教育学術情報図書館

学部の学びを特徴づける読みやすい本

学部生の皆さんへのおすすめ本



教育問題はなぜまちがって語られるのか？ 広田照幸、伊藤茂樹

本書曰く、「問題の解決に走る前に、問題の所在と成立背景を理解しなければならない」。学校現場から教育心理学まで、多様な分野を横断し、そこでの問題を見つける方法論をわかりやすく伝授する。



Human フィールド 教育文化論、臨床心理学



子どもたちの階級闘争：ブロークン・ブリテンの無料託児所から
プレイデイみかこ

グローバル化の中で生起する貧困や差別、多様性の問題をリアルに感じられる。参与観察法という調査法の利点を学ぶ上でもとても参考になる

Society フィールド 社会学、国際関係論

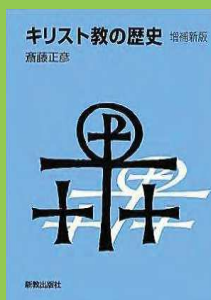
日本人は思想したか

吉本隆明、梅原猛、中沢新一

3名の学者が、それぞれ異なる専門分野をベースにしながら、日本の「思想」という高みを目指していくこの鼎談からは、分野を横断して客観的に物事を眺めようとする姿勢を、如実に感じ取ることができるでしょう。



Culture フィールド 哲学、文学、民俗学、宗教



キリスト教の歴史 齋藤正彦

本書は古代から現代にかけての欧米や日本のキリスト教の歴史がわかりやすく解説されている。この一冊で世界宗教としてのキリスト教の歴史が概観でき、それが人類文化に果たした役割も理解できる。

Culture フィールド 教会史

文・理を融合してリーダーを育てる STEAM 教育

川村一彦

この著書は、幅広い視野で総合的に判断し、表現する力をめざす文・理融合を掲げた教育プログラム、科学 (Science) 技術 (Technology) 工学 (Engineering) アート (Art) 数学 (Mathematics) の頭文字をとった課題解決型の「STEAM 教育」を紹介しています。



STEAM フィールド 工学、環境学、芸術学



新入生の皆さんへのおすすめ本

「静かな人」の戦略書:騒がしすぎるこの世界で
内向型が静かな力を発揮する法

ジル・チャン

1年生にぜひ読んで欲しい。勘違いされがちな静かで内向的な人に向けて、自己理解やコミュニケーションのスキル、グループ活動の参加方法等学生生活にも役立つ、自分らしく過ごすための実践的なアドバイス満載。

経営・ビジネス



要約力 和田秀樹

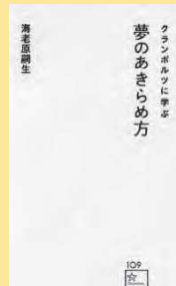
情報の要点をつかみ、手短かに集約し、かつ全体像をしっかりと理解することができるのが「要約」という作業である。物事を論理的に把握する能力に欠かせない「要約力」を鍛えるためのヒントが書かれています。

ビジネススキル

クランボルツに学ぶ夢のあきらめ方 海老原嗣生

夢のない学生でも本書を読むことで夢と上手に付き合う方法を教えてください。本書ではクランボルツのキャリア理論を有名人の事例や図、イラストでわかりやすく説明しています。

キャリア



難民に希望の光を 真の国際人緒方貞子の生き方 中村恵

日本人初の国連高等難民弁務官であり JICA 理事長でもあった緒方貞子氏の生き方を通し、難民や脆弱なひとびとに寄り添い、世界の問題に立ち向かう（国際協力に貢献する）意義を理解するとともに多国籍の国際機関をまとめ上げるリーダーシップや言葉の重さも学ぶ一冊。

平和構築、国際協力、リーダーシップ

志を育てる

グロービス経営大学院

本書は、自身の「志」は何か、どのように育み、実現していけるのかについて整理するヒントを提供してくれます。充実したキャリアや人生の設計にぜひ役立ててください。

ビジネス



観光学部

教育学術情報図書館

学部の学びを特徴づける読みやすい本



学部生の皆さんへのおすすめ本

思考の整理学 外山滋比古

書くことによって思考を整理し、より効果的に伝える技術を学べる。論理的な文章を書くスキルを磨き、アカデミックおよびビジネスでの表現力を向上させる。



自己啓発



現代観光学 ツーリズムから「いま」がみえる
遠藤英樹・橋本和也・神田孝治編著

本書は、観光の理論や視点、考察を通して、現代社会のありようを論じているもので、代表的な学説や理論的視点をもとに整理されています。観光を学術的視点から把握するうえで、わかりやすい参考書となっています。

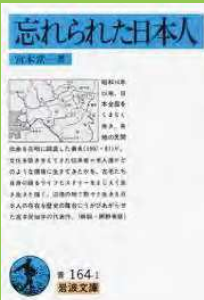
観光学

まちづくりの発想 田村明

「まちづくり」とは、ヒトづくり・シゴトづくりであり過去・現在・未来の連続で終わりが無い取り組みであることを具体的な事例で解説されています。



行政、合意形成、地域社会



忘れられた日本人 宮本常一

辺境に生き、地域文化を伝承する老人達からの日本人の暮らしの聞き取り調査のために、日本全国をくまなく歩いた、旅する巨人のフィールドワークの足跡をたどることで、日本および日本人について考えさせてくれます。

民俗学

シン・ニホン:AI×データ時代における日本の再生と人材育成 安宅和人

観光・ホスピタリティ産業にもAI×データ時代の波は押し寄せる。日本社会が必要とする人材像と日本の課題を豊富なデータと図表で示した良書。通読できなくとも、傍らにおいて学部での学びや就活に役立てることができる。



人材育成、ビジネス・経済